



春日っ子だより

春日小学校・校長室だより

文責 校長 丸山 晴幹

「冬来たりなば、春遠からじ」



イギリスの詩人シェリーの言葉です。

私たちが生きていく長い人生には、苦難の時期もありますが、努力によって乗り越えれば、やがて楽しい春がやってくるという意味の言葉であると受け止めます。

今月は大学のセンター試験がありました。私の受験生の頃を思い起こすと、勉強していることの中にわからないことが多く、ついついその難しさにたまりかねて、投げ出してしまいたくなることもあったものでした。しかし、そのような時にも希望を失わずに努力をしていけば、必ず望みがかなうものです。「困難に負けてしまわず、将来に向かって明るい希望を持つこと」の大切さを教えてくれている言葉であり、私の好きな言葉の一つでもあります。

春日っ子も新しい年を迎え、自分の抱負や願いを実現するために、困難を乗り越える努力ができる人になってもらいたいものです。子どもが、今身に付けることをきちんと理解し、自分のものにすると同時に、将来の夢や希望を持ち「今日も頑張るぞ!」「今週もやるぞ!」「今月も頑張るぞ」と気を引き締めて、「めあて」を決めて努力し続ける子どもたちであってほしいものです。そのことが、子どもたちの自己肯定感(自分の全てを肯定的に捉える、前向きな感情)を育てることにもつながります。

そのような子どもを育てるために、本校の教育活動を展開していきます。

ちよつと、一息!

夕方、西の空に一際輝く星、これは金星です。別名「宵の明星」と言います。

とても綺麗です。実はその斜め上に、もう一つ「赤い星」が見えています。

これは火星です。斜めに一直線に見えます。

※ちよつと小さいので、暗くなってからしか見えませんが・・・

<寸詞> 昼休み、運動場で

5年女兒「校長先生、二重跳びができません。」

私 「では、こう練習したらどうかな」

※縄を片手に握るところをまとめて持ち、リズムよく跳びました。

私 「こうしたら、できるようになるよ。頑張って」

5年女兒「わかりました。」その後、練習を始めました。

※コツがわかること、どうしたらできるようになるかということを示してあげることが子どものやる気も引き出すことができます。